2020 年度学部生対象二次採用　日本学生支援機構 給付奨学金・貸与奨学金(第二種)

スカラネット入力下書き用紙　記入要領　【2020 秋季版】

日本学生支援機構【給付奨学金】・【貸与奨学金】(第二種)の出願者は、「スカラネット入力下書き用紙」の提出が必要です。本記入要領をもとに下書きしてください。注記のある箇所以外も必要な箇所は全て記入してください。

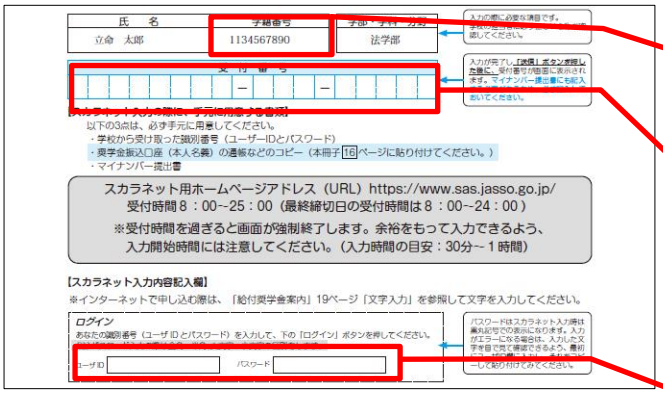
※本人控えとして、必ずコピーを取ってください。

出願者には書類提出後、ID とパスワードを配布します。各自でスカラネットに入力して出願手続きが完了となります。

※本記入要領では【給付奨学金（貸与併用申込み）用】を見本として、給付と貸与を同時に申し込んだケースについて掲載しております。給付のみ出願する人は、給付の項目のみ下書きをし、貸与のみ出願する方は【貸与奨学金のみ申込み用】に下書きをしてください。

※給付と貸与を併せて出願される場合は、【給付奨学金（貸与併用申込み）用】1 部のみ提出してください。

P.1

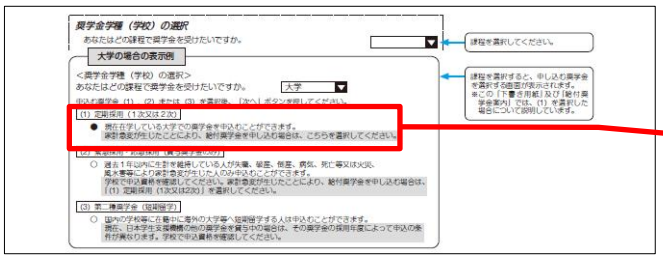


【学生証番号】
学生証番号は、ハイフンを抜いて 11 ケタの数字で記入してください。
例　：　1234567890-1　→　12345678901
「学部・学科・分野」は「学部名」のみ記入

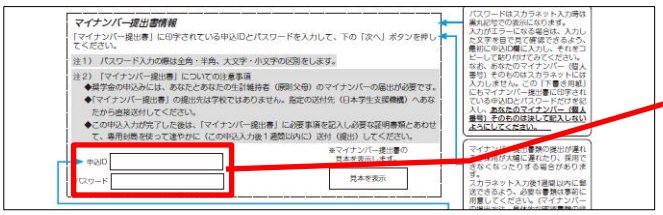
【受付番号】
スカラネット入力時、完了後に表示される「受付番号」を記入します。出願時点では記入不要です。

【ログイン】
記入不要、ユーザ ID とパスワードは、出願受付後に送付します。

P.2



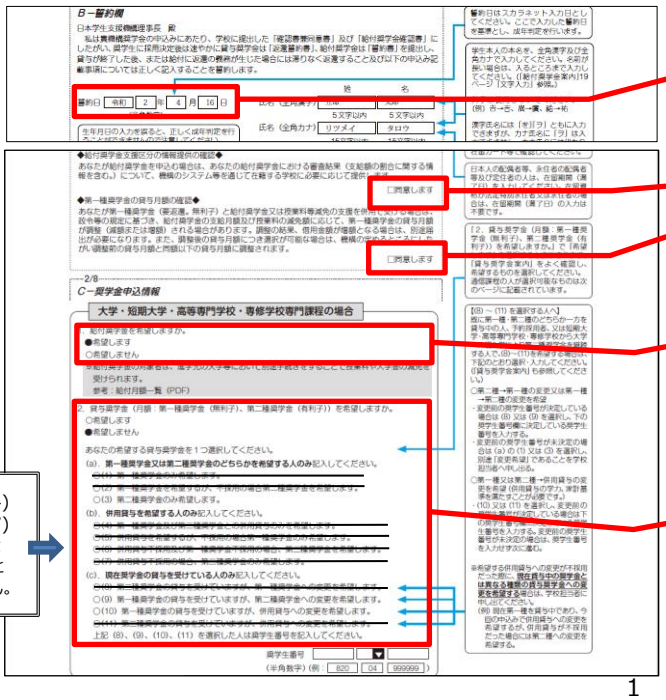
【奨学金学種（学校）の選択】
（1）定期採用（1 次又は 2 次）　を選択。
（2）（3）は選択しないでください。



【マイナンバー提出書情報】
申込 ID とパスワードは、出願後送付する「マイナンバー提出書」に記載されています。出願時点では記入不要ですが、申込 ID は必ずメモしておいてください。

【誓約日】
記入不要、スカラネットへの WEB 入力日を誓約日とします。

P.3



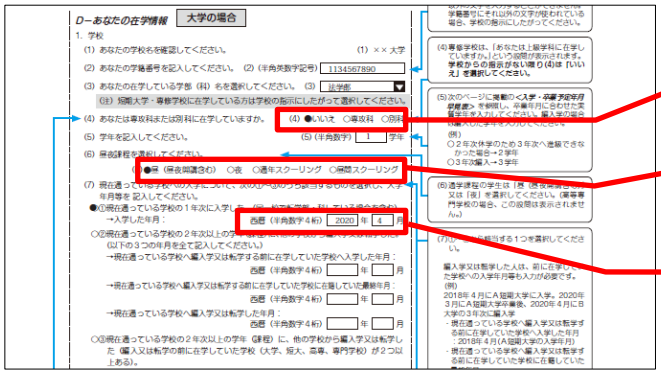
【給付奨学金支援区分の情報提供の確認】
【第一種奨学金の貸与月額の確認】
スカラネット入力時には、ここにチェック☑を入れないと次に進めません。

【奨学金申込情報　給付】
給付に申し込む人⇒「希望します」にチェック。

【奨学金申込み情報　貸与】
貸与に申し込む人⇒「希望します」にチェック。
※二次採用では以下 3 区分しか選択できません。
○(3) 第二種奨学金のみ希望します。
○(9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
○(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

(1) (2) (4)
(5) (6) (7)
(8) (11)を
選択すること
はできません。

P.4

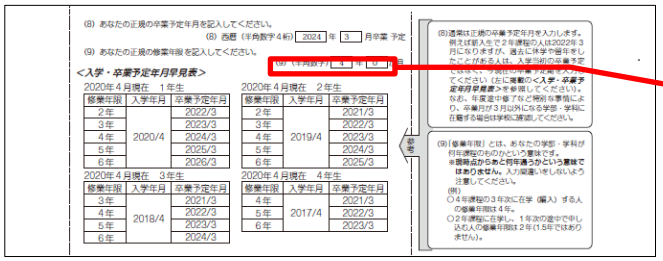


【専攻科・別科】
全員「いいえ」。※「いいえ」以外を選択すると先に進めなくなります。

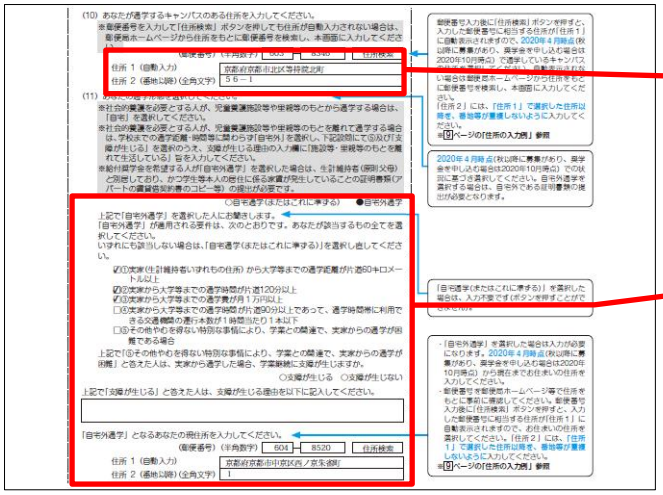
【昼夜課程】 全員「昼」。

【入学した年月】
1 回生：2020 年 4 月　2 回生：2019 年 4 月
3 回生：2018 年 4 月　4 回生：2017 年 4 月
（薬学部薬学科のみ）
5 回生：2016 年 4 月　6 回生：2015 年 4 月
※秋入学の方はそれぞれ「10 月」としてください。

P.5



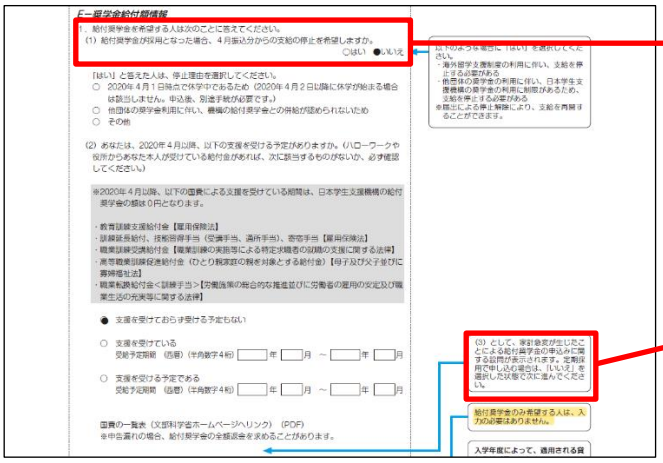
【修業年限】
薬学部薬学科は「6 年 0 ヶ月」、それ以外の学部学科は「4 年 0 ヶ月」を記入。



【通学するキャンパスの住所】
各キャンパスの郵便番号および住所は、以下の通り。
［衣笠］603-8346 京都市北区等持院北町 56-1
［BKC］525-0058 草津市野路東 1 丁目 1－1
［OIC］567-0871 茨木市岩倉町 2-150

【通学形態】
自宅通学・自宅外通学を選択。
自宅外通学の場合、「該当する要件の選択」または「実家から通学した場合、学業継続に支障が生じる理由の記入」が必要です。
また、自宅外通学となる住所（下宿先など）も必要です。

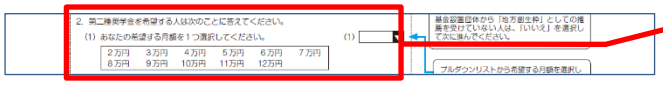
P.6



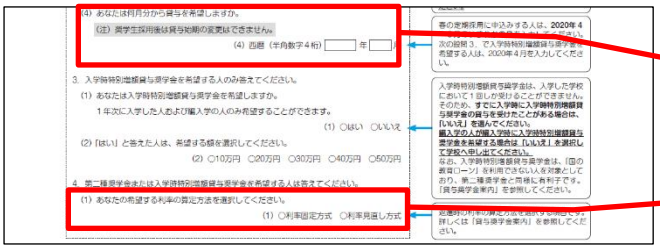
【奨学金給付額情報】
以下に該当する場合は「はい」を選択。
◎海外留学支援制度を利用する
◎2020 年 4 月 1 日時点で休学中
◎民間財団奨学金などで日本学生支援機構給付奨学金の併給が認められていない

【家計急変】
ここに「家計急変が生じたことによる給付奨学金の申込みに関する設問」が表示されますが、かならず『いいえ』を選択してください。

P.7



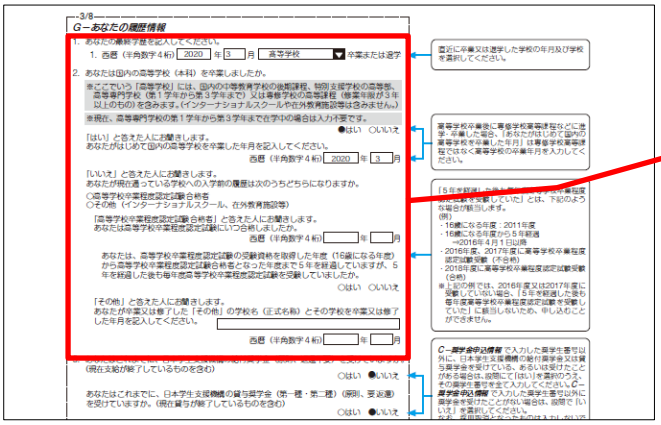
【奨学金貸与額情報】
二次募集では「2.第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。」以降について記入してください。



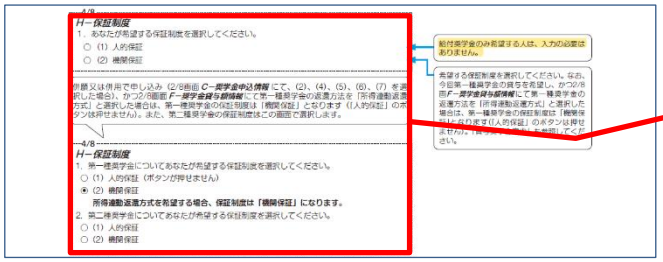
【貸与始期】 全員「2020 年 10 月」。

【利率算定方式】
貸与奨学金案内 P15～16 をよく読んで、「利率固定方式」か「利率見直し方式」のどちらかを選んでください。

P.8

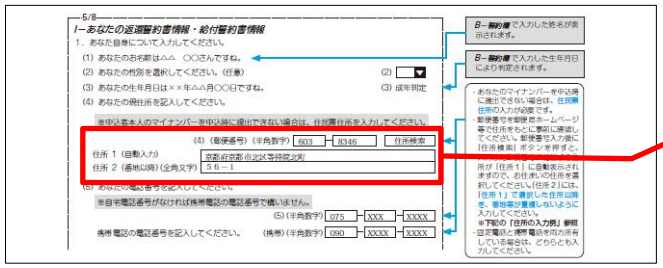


【履歴情報】
本学に入学する前の学歴等（高等学校卒業年月、高等学校卒業程度認定試験合格年月など）を記入。



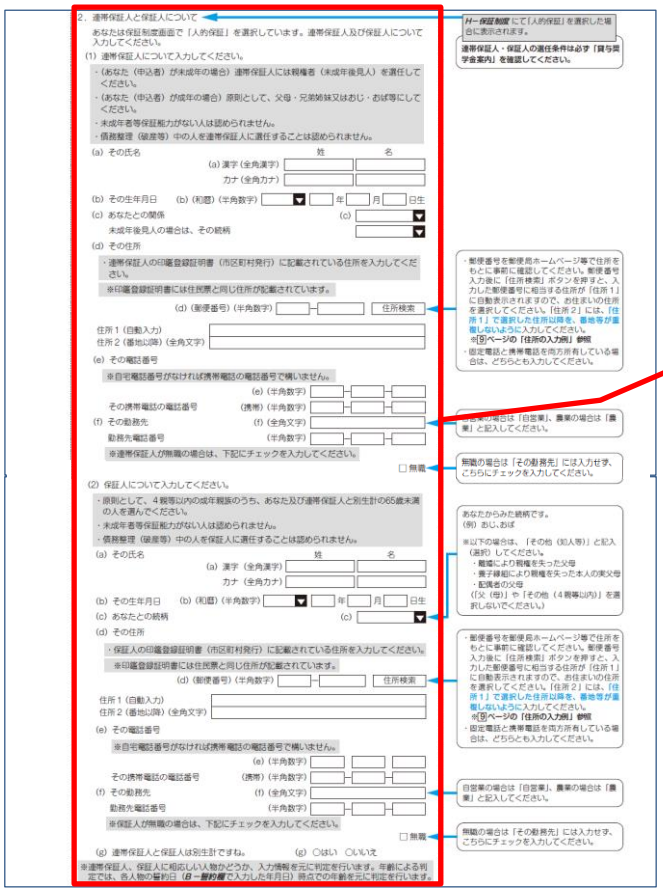
【保証制度】
貸与奨学金案内 P21～25 をよく読んで、「人的保証」か「機関保証」のどちらかを選んでください。
※人的保証を選択する方は、必ず事前に「連帯保証人」及び「保証人」ご本人の承諾を得てください。

P.9



【返還誓約書・給付誓約書情報】
現住所を記入。
申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を記入してください。

P.10

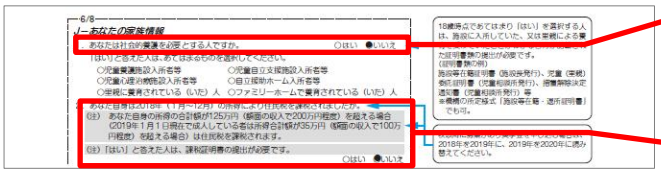


【人的保証】
保証人制度で「人的保証」を選んだ場合、ここは全て記入。
・連帯保証人→原則、父または母。（親権者、未成年後見人）
・保証人→父母を除く 4 親等以内の成人親族で、65 歳未満の方。但し、連帯保証人と別生計の方。

【注意】連帯保証人と保証人の不適当な組み合わせ
例１：連帯保証人＝父、保証人＝なし →×
→保証人を必ず選出してください。
例２：連帯保証人＝父、保証人＝母 →×
→同一生計の父母がなることはできません。
（両親が離婚している場合は保証人を「その他（知人）」として選任可能です。）
例３：連帯保証人＝おじ、保証人＝父 →×
→連帯保証人＝父、保証人＝おじ であれば可。

※人的保証選択者の連帯保証人及び保証人の住所は、「印鑑登録証明書」記載の住所を記入してください。
(印鑑登録証明書には、住民票と同じ住所が印字されています)

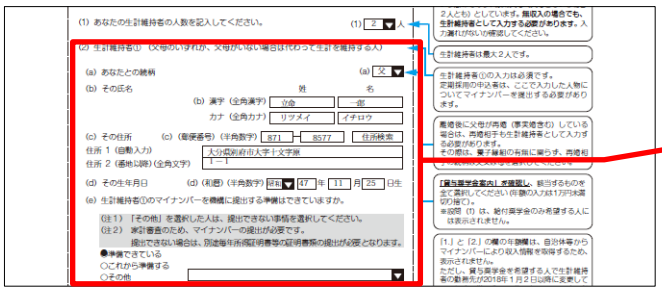
P.11



【社会的養護】
「社会的養護を必要とする人」に該当する場合は「はい」を選択、別途書類の提出が必要です。

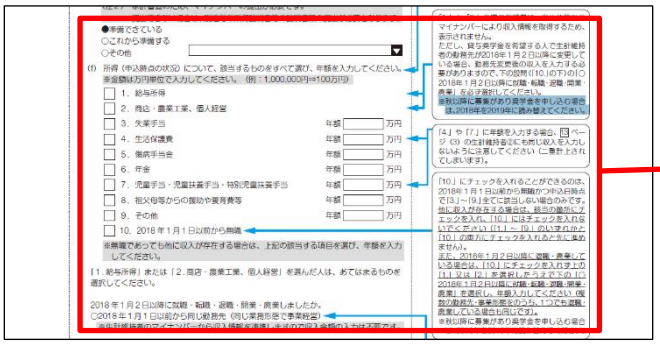
【本人住民税課税】
申込者本人が 2019 年 1 月から 12 月までのアルバイト収入等で、住民税を課税されていた場合は「はい」を選択、別途書類の提出が必要です。

P.12



【生計維持者】
生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）に関する情報を記入してください。
P13 の生計維持者②情報も生計維持者①同様に記入してください。
※出願後に日本学生支援機構へ提出する「マイナンバー提出書」の「生計維持者①・②」の情報と合致させてください。
※収入等が 0 円の父母（無職・専業主婦）も記入してください。
ひとり親家庭の場合は②の記入は不要です。

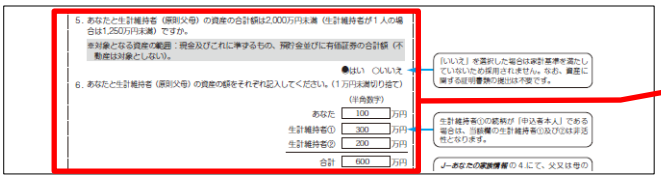
P.12
∫
P.13



【所得】P12～P13
生計維持者①、②の「所得」については貸与奨学金案内 P31「Ⅱ.収入状況の確認」をよく読んで該当する箇所に記入してください。

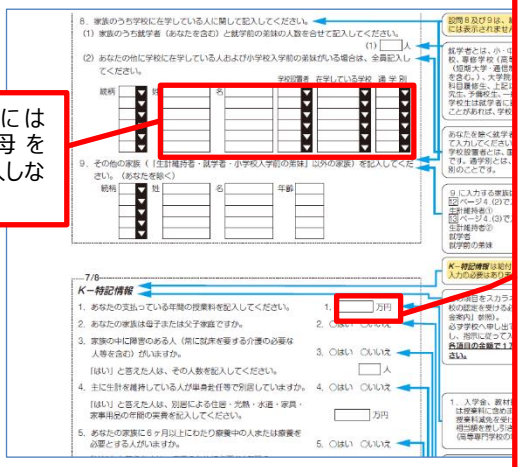
注意!! 今回の募集では、2018 年を 2019 年に、2019 年は 2020 年に、それぞれ 1 年うしろに読み替えてください。

P.14



【資産額】
資産状況について記入してください。
土地・建物などの不動産は対象となりません。
資産額が 0 円の場合は「0」と記入してください。

P.15

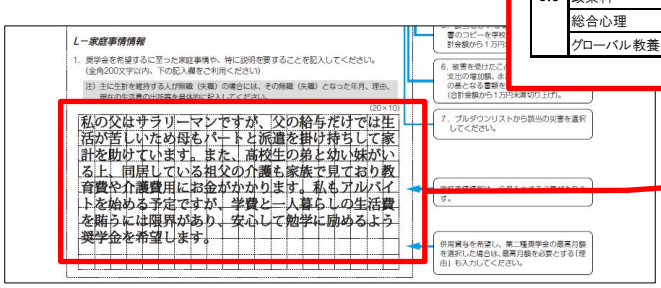


ここには父母を記入しない。

【各学部授業料】
下表の数字を記入してください。
※「入学金」や「実験実習料」は含まれませんので、実際の納入額とは異なります。

	学部・学科・専攻		新入生	在学生（回生） 2	3	4
衣笠	法		98	96	96	96
	産業社会	現代社会学科	122	120	120	120
		子ども社会専攻				
		現代社会学科	115	114	114	114
		子ども社会専攻以外				
	国際関係	国際関係学科	127	125	125	125
	文	地域研究学域	114	113	113	113
		人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古学・文化遺産専攻	112	113	113	113
		上記以外	112	111	111	111
	映像		186	184	184	184
OIC	経営	経営学科	98	96	96	96
		国際経営学科	110	109	109	109
	政策科		117	115	115	115
	総合心理		121	119	119	119
	グローバル教養		230	230	—	—

	学部・学科・専攻		新入生	在学生（回生） 2	3	4
BKC	経済	経済学科	101	100	100	100
		国際経済学科	—	—	—	109
	理工	数理科学科	151	149	149	149
		数理科学科以外	157	155	155	155
	食マネジメント		122	120	120	—
	情報理工		157	155	155	155
	生命科		160	158	158	158
	薬	薬学科	229	231	231	231
			5回生：231、6回生：227			
		創薬科学科	181	179	179	179
	スポーツ健康科		122	120	120	120



【家庭事情】
家庭事情等をできるだけ具体的に記入してください。
120 文字以上、200 文字以内。
入力時、半角英数字や半角カナ文字は使用不可。
数字、記号を含め、すべて全角文字で入力してください。

P.16 口座は、学生本人名義のみ利用可、「スカラネット入力下書き用紙」の P.16 をよく確認のうえ記入してください。
また、通帳のコピーを「スカラネット入力下書き用紙」コピー（本人控え） の P.16 に貼付してください。